

# 比較的方位密度の高い極点図処理の挙動

2022年01月06日

*HelperTex Office*

## 概要

ODF 解析には直接法と間接法があります。

直接法にはLaboTex, 間接法としてHerminicがあります。

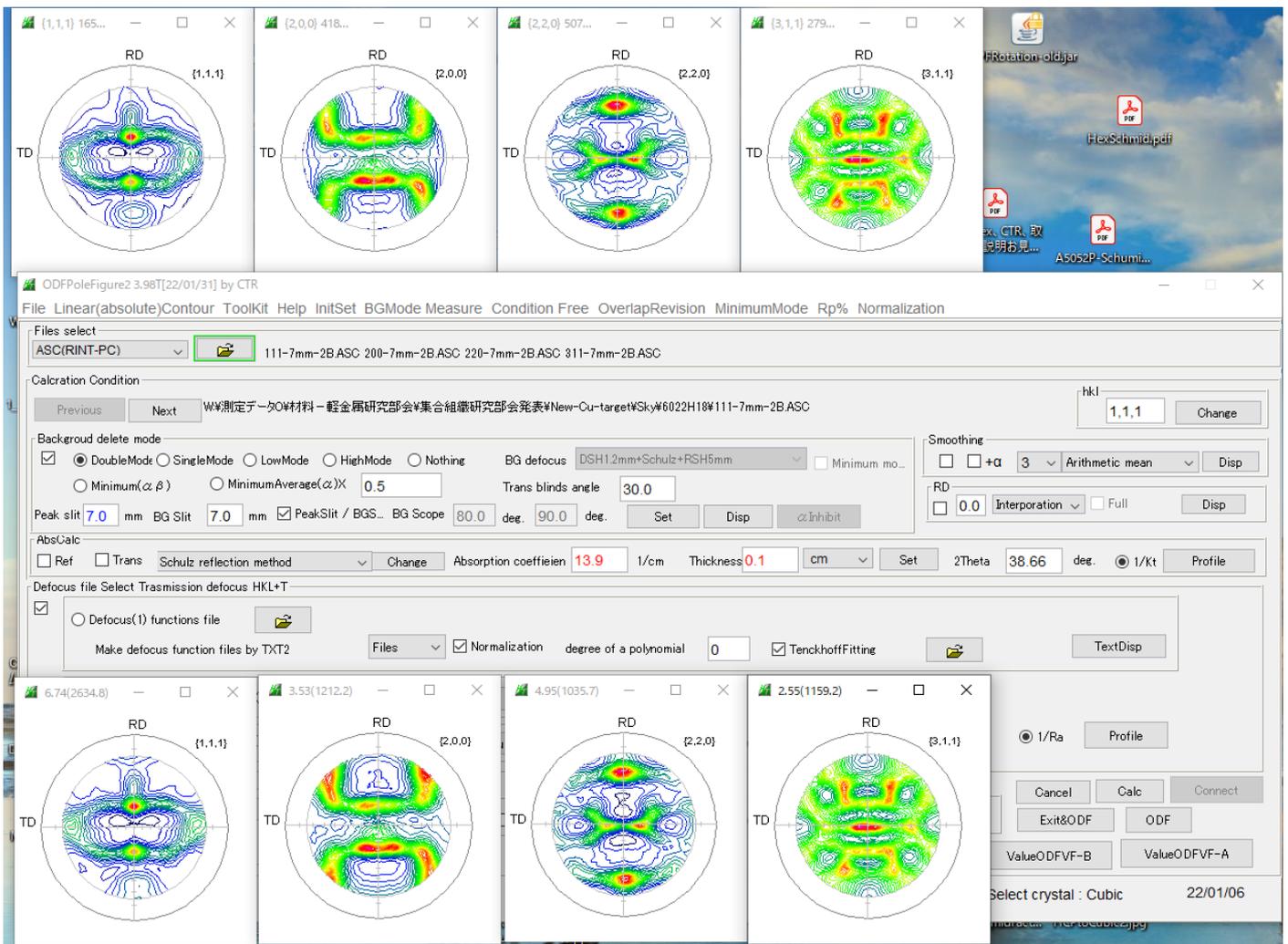
ODFPoleFigureではRp%の計算にHerminic法で計算しています。

直接法は測定データに近い値で計算され、Herminic法は丸みを帯びた計算になります。

この事が、極点図から計算されるRp%に影響し、方位密度が高い場合Rp%に影響します。

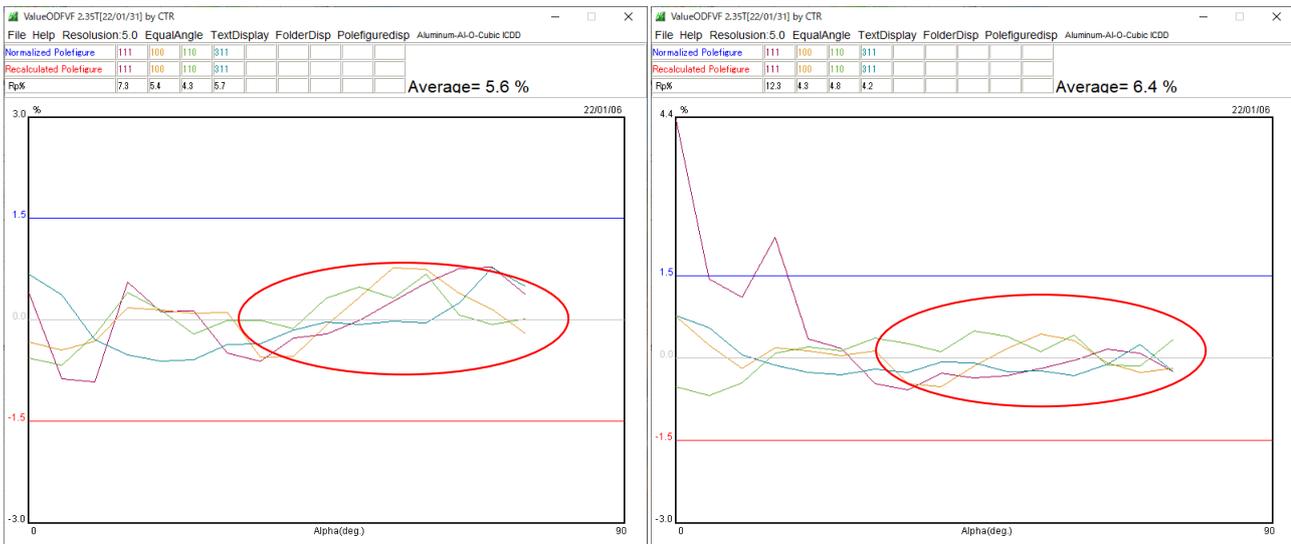
方位密度が高い場合、Rp%が±1.5%を超える事があります。

# データ処理



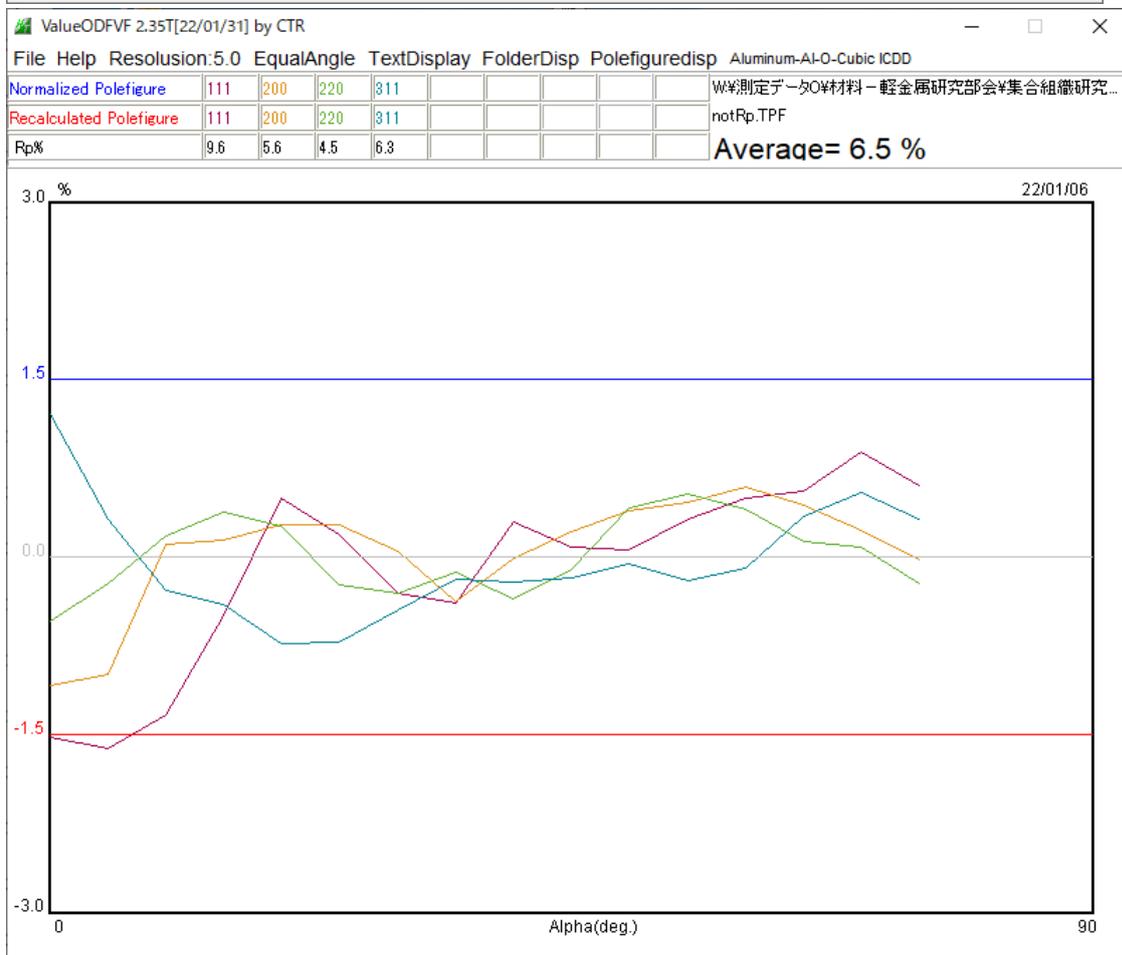
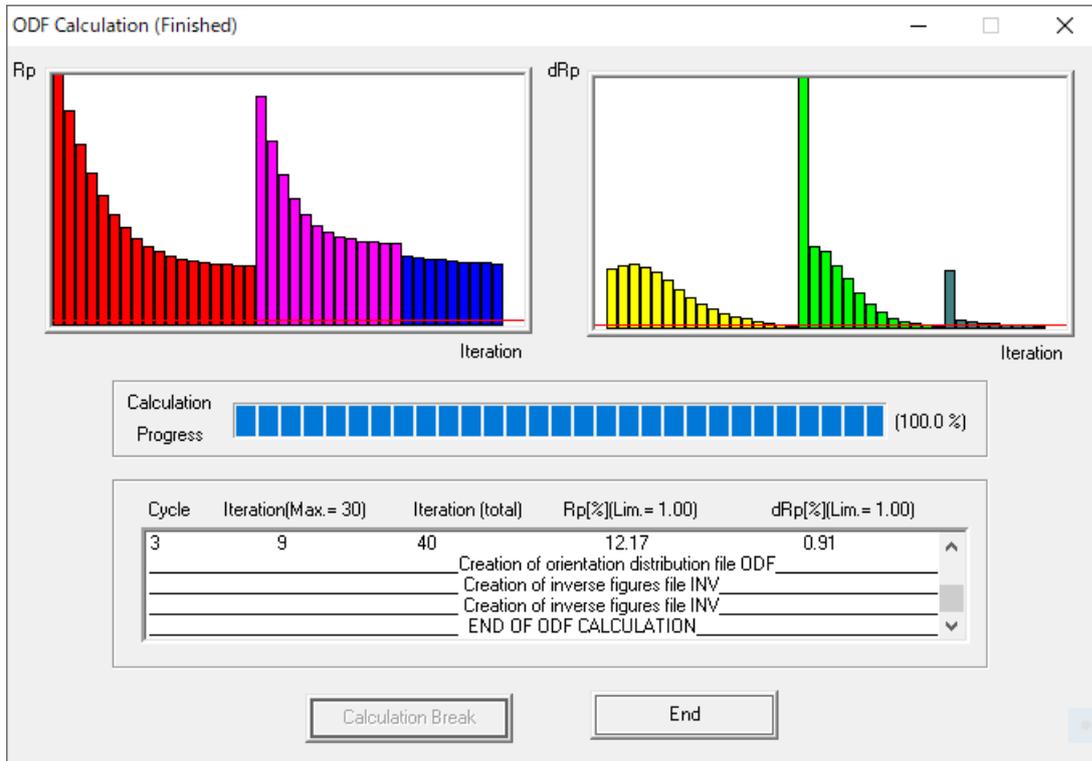
## 計算 defocus 処理

## 計算 defocus + 最適化 Rp %

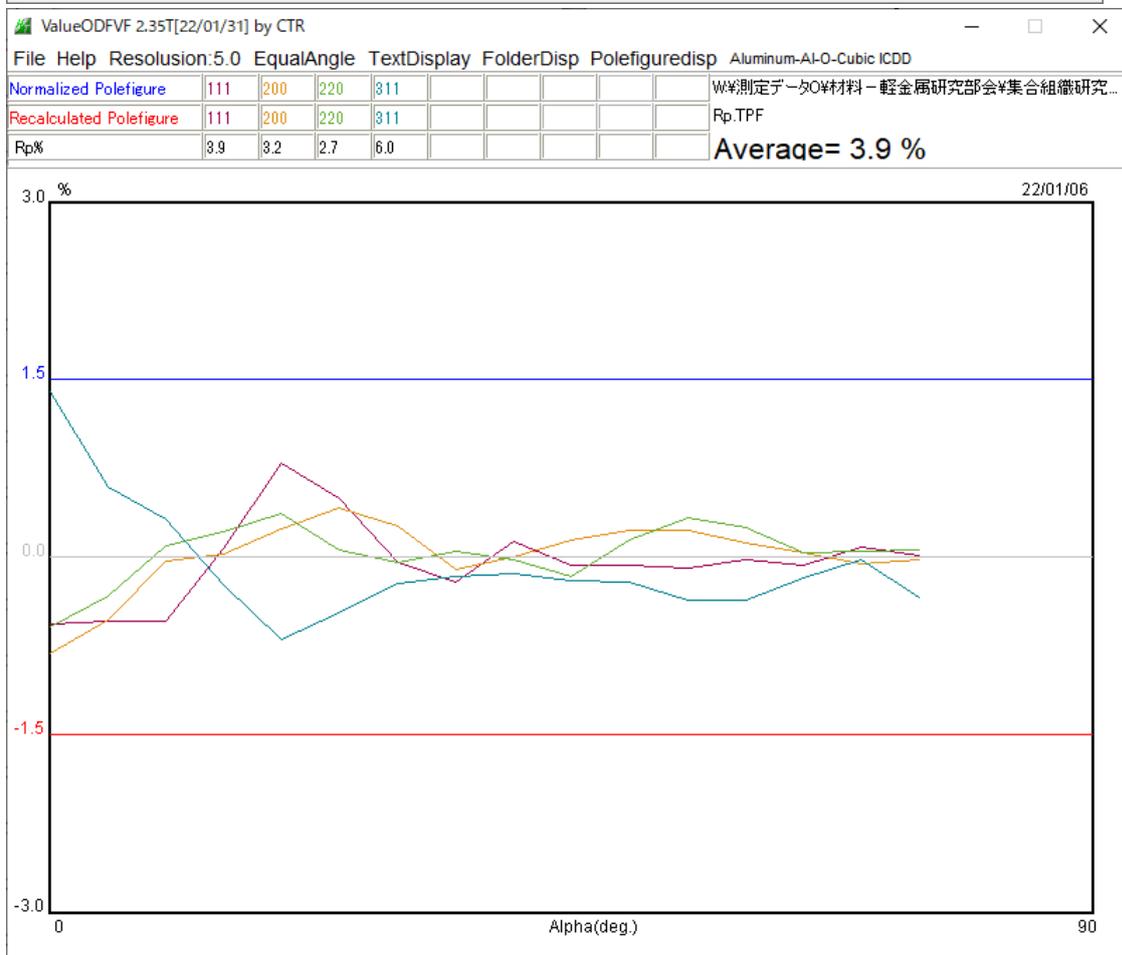
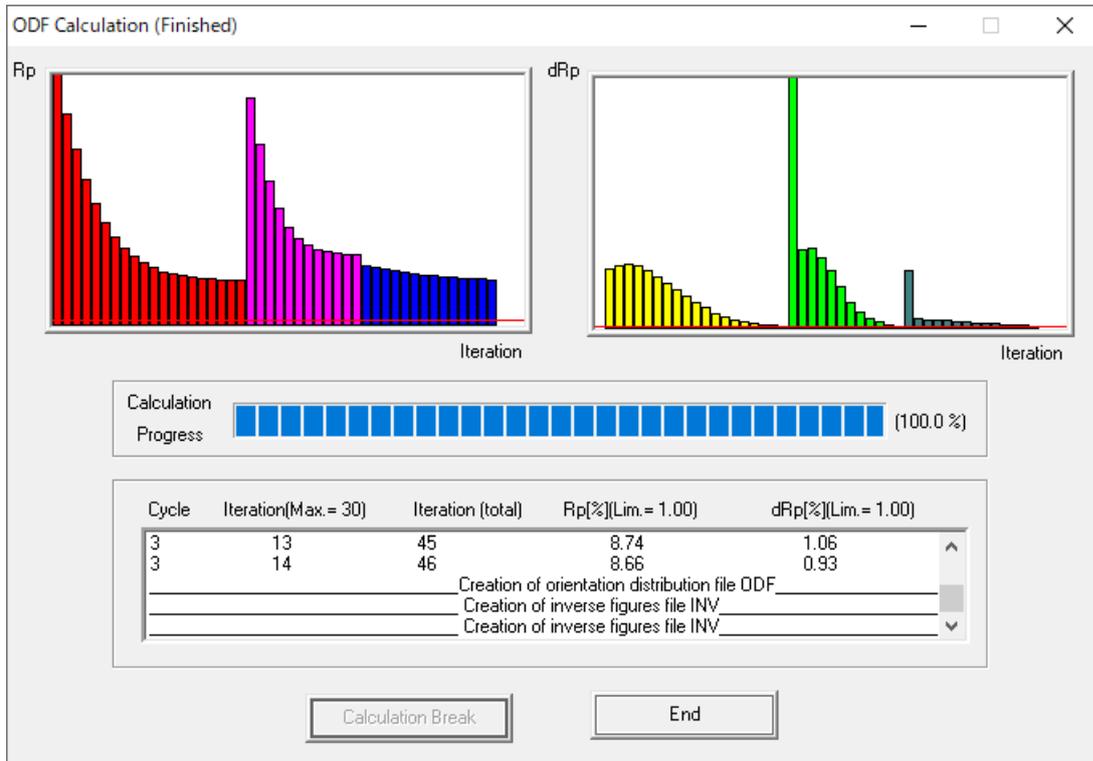


defocus 状態は、最適化 Rp% が良いが Rp% では最適化 Rp% は低下している Rp% の平均値で考えると計算 defocus のみが良さそうですが、Herminic で評価しているため問題があります。このデータの ODF 解析を行ってみます。

defocus補正のみ

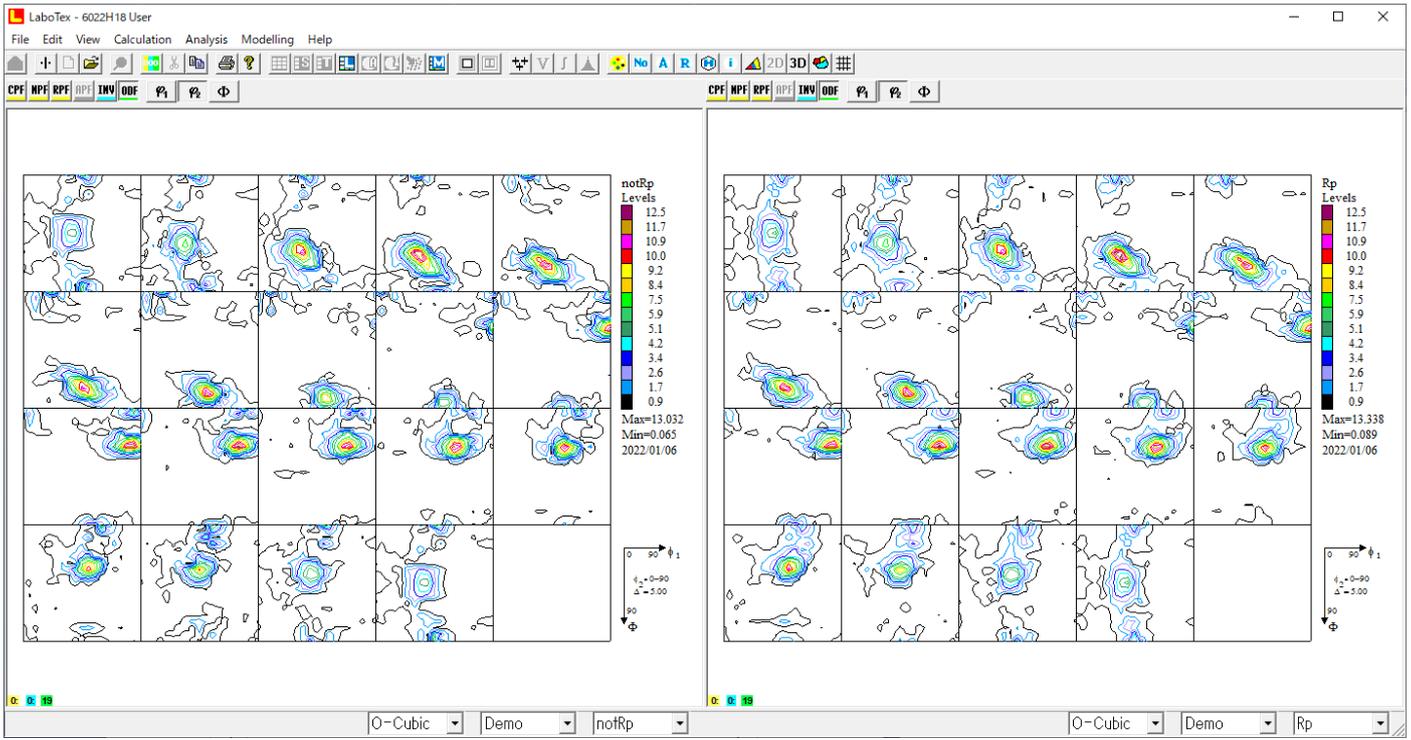


defocus + 最適化Rp%



最適化Rp%処理が良い結果になります。

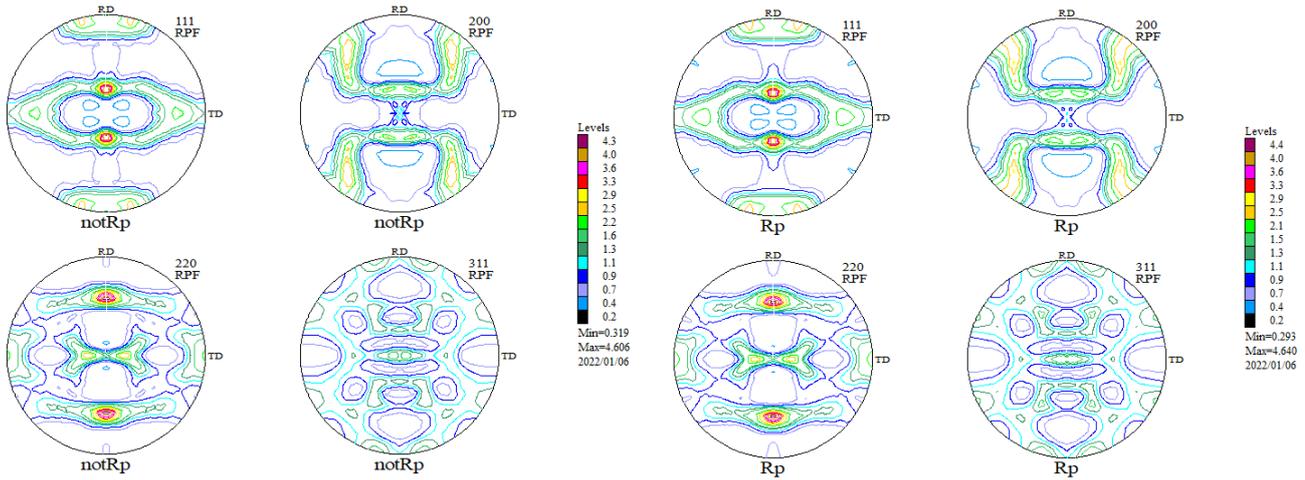
# ODF 図比較



Max=13.032  
Min=0.065  
2022/01/06

Max=13.338  
Min=0.089  
2022/01/06

# 極点図比較



Min=0.319  
Max=4.606  
2022/01/06

Min=0.293  
Max=4.640  
2022/01/06